

学術研究向けソリューションで JINS MEME のローデータ取得が可能に

JINS MEME ACADEMIC PACK 2015 年 4 月下旬提供開始

株式会社ジェイアイエヌ（東京本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中 仁）は、2015 年春発売予定のセンシング・アイウェア「JINS MEME（ジンス ミーム）」の学術研究者向けの特化型ソリューションとして、JINS MEME「ACADEMIC PACK（アカデミックパック）」を 2015 年 4 月下旬より販売価格 500,000 円（税抜／JINS MEME 2 台およびデータ解析用付属ソフトウェア付）にて提供開始いたします。JINS MEME「ACADEMIC PACK」では API を介さず JINS MEME の眼電位や六軸データの直接取得・分析が可能であり、DEEP DATA（※JINS MEME から取得できる人体データ）を用いた様々な学術研究への活用を可能とします。



JINS MEME とは？

JINS MEME は「自分を見る」をコンセプトに、世界で初めて三点式眼電位センサーをメガネに搭載したセンシング・アイウェアです。鼻パッドと眉間部分の三点から眼電位を取得することで、八方向の視線移動と瞬目（まばたき）のリアルタイム・センシングを可能とします。また、フレームに内蔵された六軸（加速度・角速度）センサーにより、頭部の動きや体軸の変化も精緻に把握。眼と頭の動きから得られる豊富な情報（DEEP DATA）をもとに、様々なアプリケーションとの連動を通じて、生活時の「疲れ」や「眠気度合い」などの把握や活動量の測定などを可能とします。

期待が高まる DEEP DATA の学術研究応用

2014 年 5 月の製品発表以来、医療から行動分析まで幅広い研究への活用が可能な JINS MEME の登場は、世界各国の研究者から大きな反響を呼んでいました。さらに、2014 年 10 月には経済産業省「Innovative Technologies 2014」において、ライフサイエンス分野での発展可能性が高く評価され、審査員特別賞を獲得。JINS MEME の潜在価値を更に高めるため、学術研究向けソリューションを求め声が高まっていました。

学術研究に向けて最適化されたソリューション

今回の JINS MEME ACADEMIC PACK では、一般販売予定の JINS MEME ウェリントンタイプと同じハードウェア仕様ながら学術研究用に開発された特別なファームウェアを搭載しています。付属する専用ソフトウェアを通じ、三点式眼電位センサーから取得できる眼の縦および横方向の信号と六軸センサー（ジャイロ・加速度）のローデータを PC 上で閲覧、CSV 形式での保存および出力を可能としています。また被験者間での比較対象実験等のニーズを想定し、2 台 1 セットでの提供を予定しています。

JINS MEME を活用した優れた研究を支援。研究助成制度「JINS MEME ACADEMIC AWARDS」の募集開始



この度、JINS MEME の持つ可能性を引出し、より社会に役立つウェアラブルデバイスへと発展させるために、株式会社リバネスが提供する研究助成制度「リバネス研究費」を活用した「JINS MEME ACADEMIC AWARDS（アカデミックアワーズ）」を開設。国内外の研究者へ JINS MEME を活用した優れた研究を支援していきます。

【JINS MEME ACADEMIC AWARDS 募集要項】

募集期間 : 2014年11月27日~2015年2月28日

採択件数 (合計4名) および助成内容 :

本 賞 (1名) : 研究費50万円+学術研究用 JINS MEME ACADEMIC PACK の提供

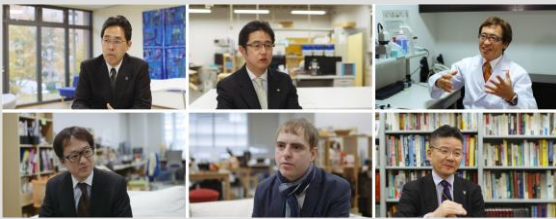
奨励賞 (3名) : 学術研究用 JINS MEME ACADEMIC PACK の提供

募集分野 : JINS MEME を活用した研究テーマ

- 研究分野、活用方法は問いません。社会科学系のテーマも対象とします。
- 審査時には学術的な側面だけでなく将来的な社会への貢献可能性なども重視します。

アワードの応募および JINS MEME ACADEMIC PACK に関する詳細 : <http://academic.jins.com>

JINS MEME EPISODE 03: 「JINS MEME for ACADEMIC」 公開中



JINS MEME を通じて眼や頭の動きからとれる生体データは、まさに「DEEP DATA (ディープ・データ)」と呼ぶにふさわしい、深く・豊かな情報を秘めています。この DEEP DATA の潜在的な価値をいち早く見出し、学術的な探求に着手した研究者たちは、JINS MEME をどのように捉えているのか? インタビューを通じて、研究者達が見据える世界観に迫ります。

<https://www.youtube.com/watch?v=W6lWbnoxmqM>

JINS MEME ACADEMIC PACK

購入条件

JINS MEME ACADEMIC PACK は、学生、教職員、教育機関および研究機関のみなさまを購入および使用対象とした製品です。購入に際しては在籍を確認させていただく場合があります。

基本仕様

名称	JINS MEME ACADEMIC PACK (ジンス・ミーム アカデミックパック)
発売予定時期	2015年4月下旬
商品価格	50万円 (+税)
ハードウェアの仕様	・ 外観は一般販売用の JINS MEME と変わりません。 ・ 学術研究用の特別ファームウェアで JINS MEME のローデータを出力
付属ソフトウェア	三点式眼電位センサーからの信号、及び六軸 (加速度・角速度) センサーのデータを閲覧、保存および CSV 形式での出力が可能なソフトウェアを付属
データ通信	・ USB ケーブルによる有線通信 ・ Bluetooth LE による無線通信
対応 OS	Microsoft Windows 8.1
同梱物	・ JINS MEME 本体×2 ・ 専用受信機×2 ※無線通信で使用 ・ 充電/通信用マイクロ USB ケーブル
詳細情報	http://academic.jins.com

当リリースに関するお問合せ先

(株) ジェイアイエヌ 広報担当 渡辺・官野

TEL : 03-5275-7401 / FAX : 03-5275-7402 / Mail to : pr@jin-co.com

【参考情報】

JINS MEME に期待される応用分野

人体の認知情報の9割近くを占める眼や頭部の動きからとれる生体データは、Deep Data と呼ぶにふさわしい様々な価値を秘めており、医療からマーケティングまで様々な応用が期待されます。

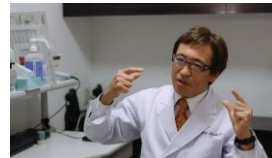
先制医療・ヘルスケアサイエンス分野への応用

眼や体の動きの変化や異常を検知し解析することで、認知症や精神病、さらには整形外科領域や成人疾患などの分野で発生する様々な病気の兆候を察知し、早期の診断・治療へと繋げる「先制医療」領域での活用が期待されます。

JINS MEME はヘルスケアサイエンス分野での発展可能性を高く評価され、経済産業省が運営する「Innovative Technologies 2014」の「Human 部門」審査員特別賞を獲得しています。(http://pdf.irpocket.com/C3046/XN1V/cpre/NkQp.pdf)

< 期待される医療領域での応用 >

・眼科／整形外科／精神科／リハビリテーション科／内科（神経内科・呼吸器内科 ほか）など



https://www.youtube.com/watch?v=zmx9s_H-W8

オフィスにおける疲れや集中度のマネジメント・ツールとしての応用

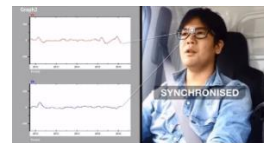
「JINS MEME」では、検出した眼の動きのパターンを独自のアルゴリズムに基づき、オフィス作業時の「疲れ」や「集中度」を可視化することができます。スマートフォンアプリケーションなどを通じて、オフィスなどでの効率的な働き方をサポートするマネジメント・ツールとしての活用が期待されます。



<http://www.youtube.com/watch?v=6jXjpteLhw>

ドライブ時の安全運転サポート技術としての応用

眠気が増すとドライバーの眼は特有の動きを示します。JINS MEME では、芝浦工業大学・加納慎一郎先生との共同研究をすすめ独自のアルゴリズムを構築。ドライバーの眠気の兆候を事前に察知し、アラートする機能の構築を目指しています。また、自動車部品のトップサプライヤーである株式会社デンソーと慶應技術大学大学院メディアデザイン研究科との産学共同研究を通じて、JINS MEME を活用した次世代の安全運転サポート技術の開発を進めています。



<https://www.youtube.com/watch?v=KeX6Wi4AIHQ&index=2&list=UUks1fDW7UrrlGIWzQIoFsOw>

スポーツ・フィットネス分野への応用

六軸（加速度・角速度）センサーによりキャッチした頭部の動きを専用のアプリケーションで分析する事によりランニングや歩行中の体の傾きやブレをリアルタイムに把握。従来のリストバンド型ウェアラブルでは実現が難しかった体軸や体幹など「動きの質」を意識したトレーニングが可能となり、フィットネス分野での活用が期待されます。



<https://www.youtube.com/watch?v=jWNABpgabgc>

ライフログ・マーケティング分析などへの応用

視線移動や瞬きの微細な動き、さらに「うなずき」など頭部の動きは、人間の興味関心の推移を物語るデータとして、心理学やマーケティング分野への応用が期待されます。また、自身の興味関心の推移をアプリケーションなどを通じて記録することで「これまで気づかなかった自分」を知ることのできるライフログツールとしての活用なども考えられます。

ゲーム・アート・エンターテインメント分野への応用

眼や頭の動きをインプット信号として活用する事により、コントロールデバイスとしての活用も可能となります。主にゲームやアート・エンターテインメント分野での活用が期待されます。



<https://www.youtube.com/watch?v=y-9QbtBZNWQ&list=UUks1fDW7UrrlGIWzQIoFsOw>